

# 新着図書からおすすめの5冊

毎週火曜日は、新着図書の配架日です。本日8月11日（火曜日）の新着図書の中からおすすめの本を紹介します。インターネット予約・貸出は、8月18日（火曜日）からです。

[👉バックナンバーはこちら](#)

## 『新聞のある町』

四方 洋／著、清水弘文堂書房／刊、請求記号：070.2/ Sh,33

内容：「ブロック紙」「県紙」よりも狭いエリアに密着する「地域紙」は、新聞退潮の時代でも堅実な需要をつかんでいる。ローカルメディアがこれから果たす役割を、全国各地の現場で聞く。『リベラルタイム』掲載を書籍化。

## 『世界で活躍する人が大切にしている小さな心がけ』

石倉 洋子／著、日経BP社／刊、請求記号：159 /I,76

内容：フリーターからスタート、ハーバードを経て、大学教授に。現在、ダボス会議などで広く活躍する著者が、世界で活躍する人の心がけを紹介します。オンラインでの連載コラムを書籍化。

著者紹介：ハーバード大学大学院にて経営学博士(DBA)取得。一橋大学名誉教授。日清食品ホールディングス株式会社などで社外取締役を務める。著書に「戦略シフト」「グローバルキャリア」など。

## 『ナウトピアへ』

堀田 真紀子／著、インパクト出版会／刊、請求記号：309/H,89

内容：衣食住や移動手段、パブリックスペースの使用法といった生活の必須要素を、これまでとは別のやり方で行うことで新しい世界をつくる運動「ナウトピア」。サンフランシスコのナウトピアの事例を紹介し、その意義を考察する。

著者紹介：福岡県生まれ。ひと・ギャラリー森のひろば、草の根文化研究会主宰。

## 『わたしの畑の小さな世界』

木村 秋則ほか／著、エスプレス・メディア出版／刊、請求記号：625.2/Ki,39

内容：青森県弘前市で完全無農薬、無肥料のリンゴ栽培を行う木村秋則が、長年にわたる畑での作業や観察を通して、ふれあってきた生きものたちとの記録を綴る。写真や横山拓彦のイラストも多数掲載。

著者紹介：1949年青森県生まれ。完全無農薬、無肥料のリンゴ栽培に成功。著書に「リンゴ

が教えてくれたこと」等。

## 『本なんて!』

キノブックス編集部／著、キノブックス／刊、請求記号：914.68/ H,84

内容：本への愛は、人さまざま。本好きのサガも、人それぞれ-。浅田次郎、夢野久作、万城目学、芥川龍之介、伊集院静など、52人の作家たちが綴る、珠玉の“本エッセイ”アンソロジー。

**佐賀県立図書館** 〒840-0041 佐賀県佐賀市城内二丁目1-41

Tel 0952-24-2900 Fax 0952-25-7049 E-mail [saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp](mailto:saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp)